

令和6年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要
(「指定管理者候補者選定」に係る審査)

1 開催日時 令和6年10月8日(火) 10:00～10:40

2 開催場所 青森市役所 議会棟4階 第1委員会室

3 対象施設 青森市文化観光交流施設(ワ・ラッセ)

4 出席者

(1) 選定評価委員 委員長 太田直樹(企画部次長)
副委員長 工藤拓実(総務部次長)
外部委員 沼田郷(青森大学教授)
外部委員 桃野敬(東北税理士会青森支部税理士)
委員 石村淳(浪岡振興部次長)

(2) 施設所管課(観光課)

課長 沢木正明
主幹 岩間憲仁
主査 松本洋平

(3) 制度所管課(行政資産経営課)

課長 岩渕寿哉
主幹 福田幸高
主査 花田昌
主査 櫻田博光

5 審査結果

(1) 指定管理者候補者

- ・名称 公益社団法人青森観光コンベンション協会
- ・住所 青森市新町一丁目2番18号
- ・代表者 会長 佐藤 健一

(2) 指定期間

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで(5年間)

(3) 選定理由

- ・応募資格を満たしていること。
- ・「応募団体について」及び「効率性について」を除いた得点(96.20点)が最低基準点(74.00点)以上を獲得していること。

6 主な質疑内容

【収支計画】

- 委員：令和5年度における施設としてのワ・ラッセの収支黒字額はどれくらいか。
- 応募者：約6千万円である。
- 委員：今年度においては、間もなく台湾からのチャーター便も復便し、ワ・ラッセでもプロジェクションマッピングの設置もあることから、益々集客が図られると考えられるが、昨年度と比較すると、今年度におけるこれまでの利用動向はどのような状況か。
- 応募者：今年度における9月末時点の利用者数は、前年度比116%となっている。現時点においては、収支黒字額は昨年度よりも多い黒字額となる見込みである。

【来館者を増加させるためのPR及びイベントの実施計画又は自主事業】

- 委員：当該施設は非常に誘客促進が図られ、収支黒字額も多く発生していることから、来年度以降、予算をかけて実施する新規の事業計画はないか。
- 応募者：来年度の利用者動向や収支見込は不確定であることから、明確に申し上げることは難しいが、既存の取組のブラッシュアップとして、当該施設には英語表記が不足していると認識しているため、現在日本語のみの表記としているねぶた名人紹介コーナーの動画に英訳表記を盛り込むことやデジタルサイネージを活用した案内表記など、観光客の受入体制整備に尽力して参りたいと考えている。
- 新規の取組としては、クリスマスシーズンにおいて、ねぶた師にねぶたサンタを制作していただき、フォトスポットを創出することや、七夕の時期には、2階のエントランスから1階に大きな笹を垂らす演出を行うことなどを考えている。
- 委員：非常に集客力のある施設であるため、今後はDXを活用した新たなサービス提供も検討してみたいか。
- 応募者：検討を行ってまいりたい。
- 委員：ワーキングホリデーの方が働いているとの説明があったが、母国はどこか。
- 応募者：台湾である。中国語、英語が話せるスタッフである。
- 委員：施設の多言語表記に係る翻訳をワーキングホリデーのスタッフが行うことが出来れば、日本で実施した実績にもなるため、検討していただきたい。
- また、ウォーターフロント活性化に係る取組について、何かプランとして考えていることはあるか。
- 応募者：当方は、ウォーターフロント活性化協議会の会員であるため、当該協議会の取組としてワ・ラッセ西の広場や青森駅前ビーチを活用したイベントを実施しており、積極的に参画している。

委員：ねぶたと海、ねぶたとベイエリアを掛けた新たな取組が出来る可能性があると考えてるので、是非検討いただきたい。

応募者：検討を行ってまいりたい。

【サービス向上の対策】

委員：授乳室が無い施設であるが、利用者からの要望に対してはどのように対応しているのか。

施設所管課：2階給湯室を活用し、カーテンやソファ、サーキュレーターなどを設置した授乳スペースを設け、対応している。

委員：授乳室の常設は考えていないのか。

施設所管課：利用者の声が多い場合には、常設設置を含めて検討してまいりたい。

【福祉に関する取組】

委員：障がい者へのアプローチはどのような状況か。

施設所管課：駐車券発券機に設置しているインターホンからワ・ラッセ事務室にご連絡をいただけますと、駐車場までスタッフが車椅子をお持ちする対応を行っているほか、近隣の観光施設間を周遊できる対応を開始したところ。

【防犯、防災、緊急時の対応に関する取組】

委員：応募者からのプレゼンの中で、警報の誤作動は発生し、利用者を館外へ避難させる事態が発生したとの説明があったが、目標時間で避難できたのか。

施設所管課：不測の事態を想定した避難マニュアル通りに利用客を避難誘導し、目標時間内に避難出来たと報告を受けている。